



初代国立劇場
さよなら公演



日比谷カレッジ
HIBIYA COLLEGE

国立劇場の思い出 —制作の視点から

2023年9月8日(金) 19:00~20:30 (18:30開場)

定員 200名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

会場 日比谷図書文化館

地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

国立劇場とのコラボカレッジ第3弾では舞台の花である役者と、衣装や道具、舞台の背景等を作る職人をつなぐ制作の世界を見ていきます。

国立劇場制作室で長年の勤務ご経験のある神山彰氏を講師にお招きし、舞台を作る苦労話や醍醐味を役者・職人とのエピソードを交えてお話しいたします。

また初代国立劇場は2023年10月末に閉場し、建て替え期間に入ります。1966年に建てられたあぜくら造りの劇場を楽しめるのも残り僅かとなりました。数多くの劇場を見てこられた講師に初代国立劇場の「記憶遺産」としての魅力についてもお話しいたします。



かみやまあきら

講師 神山彰 (明治大学名誉教授)

1950年東京生まれ。明治大学名誉教授。専門は近代日本演劇。1978年より国立劇場芸能部制作室勤務、歌舞伎、新派公演の制作に携わる。1996年より明治大学文学部助教授を経て2021年まで同教授。著書に『近代演劇の来歴』(2006年、森話社)、『近代演劇の脈拍—その受容と心性』(2021年、森話社)、『近代演劇の水脈—歌舞伎と新劇の間』(2009年、森話社)、編著に『忘れられた演劇』(2014年、森話社)、『商業演劇の光芒』(2014年、森話社)、『興行とパトロン』(2018年、森話社)等がある。



●都営三田線「内幸町駅」
A7出口/徒歩3分

東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口/徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」
C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」
日比谷口 (SL広場) /徒歩10分

国立劇場さよなら公演
記念事業実施中!



詳しくは特設サイトをご覧ください。

お申し込み方法

ホームページのお申し込みフォーム、電話 (03 - 3502 - 3340)、ご来館 (1階受付) いずれかにて、①講座名、②お名前 (よみがな)、③電話番号、(「お申し込みフォーム」からの場合は④メールアドレス) をご連絡ください。*小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が必要です。(同伴者の方にも参加費が必要です)

主催 千代田区立日比谷図書文化館
東京都千代田区日比谷公園1-4

協力 独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)
東京都千代田区隼町4-1